



地域や企業・個人のみなさまの課題解決を
30,000人を超える専門家が
お手伝いします



お客様支援センター 西武信用金庫

NEW 日テレ通り支店 03-3263-0071 千代田区二番町 5-5-4F
神田支店 03-3251-5111 千代田区神田須田町 1-8-4-2F
西武信用金庫は「2016 ちよだの秋まつり」の協賛企業です

第一回

東京大回廊写真コンテスト 入選作品写真集 2016

一般社団法人 千代田区観光協会

ご挨拶



千代田区は首都東京の中心にありながらも皇居を中心に多くの緑に溢れ、我が国の政治・経済・文化の中心地となっております。しかも、文化・教育施設・商業・住宅地域など古いもの、新しいもの織り交ぜて同心円状にぐるりと並んでおり、世界でも稀なエリアが形成されています。そんな千代田区の魅力をファインダーを通して新たに発見し、国内外に伝える事が出来ればとの想いから本コンテストを「東京大回廊写真コンテスト」として企画いたしました。

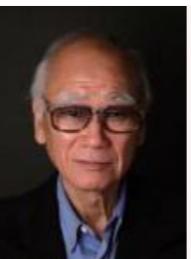
今般、ご応募いただきました 741 点の作品の中、審査員の厳正なる審査を経て入選した 179 点をご紹介とともに、ご応募頂いた方々にあらためて心より御礼申し上げます。

今回応募された作品は千代田区の四季折々の風景や街の伝統行事といった様々な魅力を表すもので溢れ、千代田区の魅力を十分に伝えてくれております。入選作品をぜひご覧頂き、改めて千代田区の素晴らしい一面を感じて頂ければ幸いに存じます。

受賞されました方々にお祝い申しあげますとともに、本企画の趣旨にご協賛を頂きました各企業・団体の皆様に心より厚くお礼申しあげます。

平成28年10月吉日
一般社団法人 千代田区観光協会
会長 森川 清司郎

審査員



熊切 圭介氏 (写真家・日本写真家協会会長)

1934年東京・下谷西町に生まれる。1958年日本大学芸術学部写真学科卒業。のちにフリーランスの写真家として週刊誌を中心に月刊誌、グラフ誌など主にジャーナリズムの分野で活動する。同時に単行本、美術全集などの撮影を行う。



松本 徳彦氏 (写真家・日本写真家協会副会長)

1936年尾道市で生まれる。1957年主婦と生活社入社。1963年フリーとなる。内外の舞台芸術家を撮りグラフ誌などで発表。日本の写真史研究、執筆のほか、写真美術館の設立に尽力、写真保存センターの活動を推進している。



中嶋 好仁氏 (写真家・前学校法人東京ビジュアルアーツ校長)

1944年東京大森に生まれる。1966年東京写真短期大学<現東京工芸大学>卒業後、東京写真専門学院<現東京ビジュアルアーツ>において、40年余の写真教育の中で、多くのカメラマンを排出してきた。同時に作家活動を行い個展・グループ展を多数開催。退職後も写真クラブなどの指導者として活動・写真展も精力的に開催している。



眞下 伸友氏

1951年東京生まれ。広告写真撮影・TVCF映像撮影企画演出<主だった会社>サンドリー・資生堂・キヤノン・大塚製薬・全日空・本田技研工業・トヨタ自動車・JR 東日本旅客鉄道・JRA 日本中央競馬会・富士フィルム・日清食品・三井のリハウス・パナソニック・ソニー・NTT ドコモ・JTB・アオキインターナショナル・セブンイレブン・エルメス・ジャパン・プリジストン・他多数
<所属団体>社団法人日本広告写真家協会 (APA)・エンジン01文化戦略会議会員
<歴歴>ACC賞・ADC賞・NY クリオ賞・カンヌCF賞 他多数

目次

■ グランプリ・千代田区観光協会会長賞	P4-5	ホテルグランドパレス賞	P12
■ 準グランプリ	P6	国立劇場賞	P12
■ 準グランプリ	P7	東京ステーションホテル賞	P13
■ 審査員特別賞 (キヤノン賞)	P8	お茶の水ホテルジュラク賞	P13
千代田区長賞	P9	ザ・キャピトルホテル 東急賞	P14
千代田区民賞	P9	マーチエキュート神田万世橋賞	P14
ジュニア賞	P10	東京會館賞	P15
東京大回廊賞	P10	O T O G I N O 賞	P15
ダイヤモンドホテル賞	P11	作品撮影場所マップ	P34
東京ガーデンテラス紀尾井町賞	P11		



グランプリ

千代田区
観光協会
会長賞



お獅子とふれあい

関矢 俊夫

講評：熊切圭介

神田明神の境内で撮影した画面の面白さに、思わず笑ってしまった。お祭りの着物姿の子供と、獅子舞の獅子とが、睨み合っているように見える光景が、実に楽しい。実際は子供が獅子頭の奥を覗きこんでいるのだろうが、撮影アングルがいいので、睨みあっているように見えるのだろう。主役の二人の格好も面白いが、横ではらしながら見ている母親と妹の表情もいい。





都会の摩天楼

伊藤 次男

講評：松本徳彦

近年東京駅周辺は様変わりです。次々と高層ビルが林立し都市空間が一変した。歴史的建造物の保存と近代建築の融合によって、新しい都市景観が生まれた。夕方の空を残し、ビル群のウォームな暖色照明で彩られた空間が調和している。暮色の美しさと近代建築の美しさを見事にとらえた秀作である。



オアシス

増田 ヒロ子

講評：松本徳彦

皇居前広場に隣接する噴水公園は、若いカップルのメッカとして有名だ。照明に彩られた噴水の変化に富んだウエーブ。ひときわ明るい噴水の照明の中を手をつないだ二人が美しい。待ちに待った絶妙なタイミングが生んだハーモニー。貝殻状の噴水と手前に流れるせせらぎが調和し恋人のオアシスを演習している。



審査員特別賞
(キヤノン賞)



休日の皇居ランナー

米倉 辰雄

講評：熊切圭介

皇居前広場を、楽しそうにジョギングしている人達を、明るい雰囲気で描いている。最近の健康志向ブームを象徴するような光景だ。一列になって走る人達を横から撮影することで、動感と広がりを強調している。皇居前のコースは人気があり、順番をとるのが難しいらしい。背景に写っている丸の内の近代的なビル群の光景から、発展する東京の「今」を強く感じる。



千代田区長賞



「鳥居回廊」

石井 清治

講評：中嶋好仁

日本を象徴する色、赤（朱）その鳥居を、望遠レンズで撮影することによって、遠近の圧縮効果がうまれ、画面の多くを占める赤い色彩になっています。画面中央には外国人の姿、まさに現代日本の観光立国を象徴する姿が見えてくるようです。彼らの視線が個々の興味の対象に注がれ、動きが感じられます。また人物の位置が画面中央後部の白を消すことでより赤の色が強調されています。レンズの選択、シャッターチャンスの良さが光ります。前面の石段の処理には細心の注意を払ってください。



千代田区民賞



「日本の春」

保坂 重雄

講評：眞下伸友

優しい春の光のなかのバランスの良い風景を、見事にまとめた構図。サクラの分配とそれを回りから引き立てる森林。そしてアクセントになっているのどかな平和を記す二槽のボート、平和を願う厚重な鳥居、祝典を呼び込む国旗の風とタイミングの良さ。第一回東京大回廊の区民賞を見事に撮影された、素晴らしい作品です。

★★★

ジュニア賞



「継承」

長江 れいな

講評：眞下伸友

神社の境内に毅然として飾られた献灯の柔らかい光が、とても良い景色を作り、そこに少女が目で追い続けて名前を探している。浴衣姿に着飾った可愛い後ろ姿の少女。その何気ない空気感と距離感。一瞬のシャッターチャンスが、動く姿を静にした素晴らしい世界観の表現です。

★★★

ダイヤモンドホテル賞



「桜咲く頃」

神田 昭

講評：熊切圭介

皇居の東御苑の満開の桜が美しい。その桜をとり巻くようにして見入っている人達の姿に、動きと変化があり面白い。桜の姿を画面に大きくとらえたフレーミングと、その桜の美しい姿を損なわないよう人間の姿をとらえた画面構成が見事だ。桜を見ている人達がみんな若いので、画面に若々しい雰囲気があり、時代を感じる。人の動きをよく観察し、最良のシャッターチャンスで撮影している。

★★★

東京大回廊賞



「でっかいでしょ」

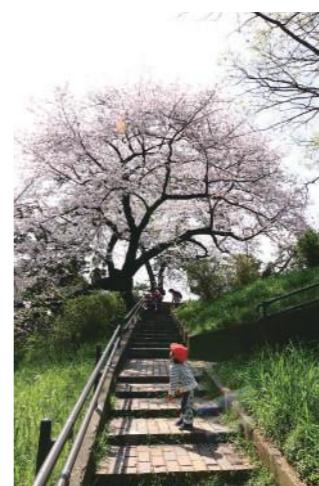
木下 信也

講評：中嶋好仁

何百年もそこにどっしりと存在する大きな石垣、さまざまな歴史の出来事を見届けてきたのであろうか。その石垣を画面全体にフレーミングした事、それがこの作品を成功させた大きな要因である。モノトーンの画面からは落ち着いた力強さと清涼感が感じられます。画面左下の石垣に寄り添う親子からは石垣との時空を超えた会話が聞こえてくるようです。石垣に見え隠れする草の緑に強い色彩を感じます。作者の美意識を感じる品の良い作品です。

★★★

東京ガーデンテラス紀尾井町賞



「...んっ！？」

石井 理英

講評：松本徳彦

少女の赤い帽子がアイポイントになっているのですが、この動作の不思議さが気になります。お花見の頃でしょうか。満開の桜の木の下で少女はなにを見ているのでしょうか。作者はどんなところに興味を持って撮ったのでしょうか。考えさせる作品です。

★★★

ホテルグランドパレス賞



「みたま祭り」

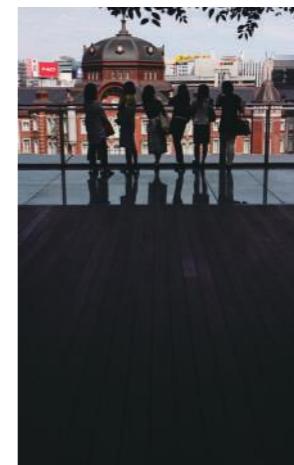
能登 正俊

講評：中嶋好仁

靖国神社のみたま祭は千代田の夏の風物詩である。大胆に広角レンズを使用し、横位置にシンメトリーな画面構成、そこには祭りに必要な要素が満載である。それを適格に取り入れた作者の撮影技術の高さが感じられます。ストロボを使うことで前面の飾りが強調され、そこから中央に向かって視線を移動すると鳥居・両側の灯・祭り装束の人々や外国人・そして奥に浮かび上がるビル、その場の熱気や活気が伝わってきます。都会の祭りの雰囲気が感じられる熱い作品です。

★★★

東京ステーションホテル賞



「華」

岡崎 リョウタ

講評：真下伸友

東京ステーションが見渡す事ができるモダンな建物の新丸ビルからの絶好なポイントで眺める女性たちを、大胆な構図で、東京ステーションの魅力が写真表現です。下部の木目が僅かに感じますが、少し分量が多いのが残念ですが、女性たちの楽しい時間がシルエットであってもとても良い雰囲気を感じる写真です。

★★★

国立劇場賞



「神事を終えて」

西山 徳明

講評：真下伸友

薄明かりの暗めな光のなか、古くから伝わる神事を終えての整然としたながれを落ち着いた構図と木でできた神社の伝統的な美しさなどが重なりあって、重厚な中に被写体の柔らかさがうまくコラボレーションされて見事な写真になりました。

★★★

お茶の水ホテルジュラク賞



「女神輿」

太田 洋之

講評：熊切圭介

神田明神の境内を埋めつくす女神輿の光景に、華やかさとエネルギーを感じる作品だ。赤く塗られた神輿を担ぎ手の赤い祭り衣装などを中心に、「赤」という色彩を十分に生かした高いアングルからの撮影が効果的だ。神輿とそれを担ぐ人達の姿を画面に大きく捉え、その向こうに神田明神の社殿と、見物する大勢の人たちの姿を入れた画面構成が鮮やかだ。

★★★

ザ・キャピトルホテル 東急賞



「男坂と神輿」

吉村 美令奈

講評：真下伸友

神輿に思いを馳せる人たちを粘り強く追いかけて冷静に被写体をねらい、静謐さえ感じる一瞬を捕らえ臨場感溢れるとお神輿の静と動の静が出て、何かとも落ち着いた時間を共有する写真です。

★★★

東京會館賞



「ツリークライミング」

鹿島 秀夫

講評：松本徳彦

都会の真ん中で面白いイベントがあったのですね。木登り競争にしではさほど迫力がないし、ぶら下がりゲームかなと不思議な光景です。しかし、これだけ珍しい光景ですから木の下の方には見物人はいないのですか。その辺を入れて撮れば良かったのに。

★★★

マーチエキュート神田万世橋賞



「水ぬるむ頃」

早川 英夫

講評：中嶋好仁

縦位置の画面の多くを占める池、そこで優雅に泳ぐ色とりどりの美しい鯉・水面に浮かぶ桜の花びら・画面上部に見える緑豊かな庭園・典型的な日本の美しさを集約した風景。それらを、レンズの選択、カメラアングル、大胆な画面構成、雨模様の天気等、まさに作者の美意識がこの作品をダイナミックで心地よい空気感を感じさせる作品にしています。画面上部に親子を絶妙なシャッターチャンスで撮影することで、単なる風景写真ではない内容の深い作品に仕上がっています。

★★★

OTOGINO賞



「日比谷の秋」

羽田 修

講評：中嶋好仁

この作品の良さは光の適格な捉え方と丁寧な画面構成にあります。縦位置の画面に真っ赤に色づいた紅葉、その赤を強調する為の逆光気味の光、そして黒い枝も良い雰囲気です。画面両端の大木がフレームの役割を果たしより赤を強調させています。そこにシルエットの人物を配置することで単なる美しいだけではなく内容のある作品になっています。前面の明るい緑も効果的で、隅々まで神経を使った丁寧な作品づくりの姿勢は好感が持てます。ベテランの味が感じられます。



「丸の内クリスマスの風景」
飯田 伊一郎



「涼を求めて」
松山 進



「カレー界に突如と現れたニューヒーロー！
神田カレーマスクと
神田のバカ殿ツーショット」
堀川 範人



「疾走」
齋藤 茂



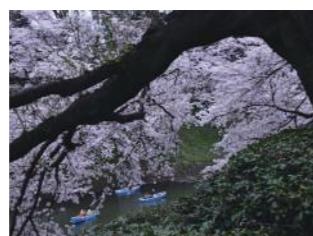
「卒業おめでとう」
吉野 宏映



「好日」
木下 信也



「王朝絵巻映る」
齋 慎



「桜花爛漫」
小林 澤



「にぎわう本の街」
石川 恵子



「Holiday」
木下 信也



「有楽町で夜さ来い」
品川 明雄



「ハッピースマイル」
橋本 昌利



「本の迷路に迷い込んだ！」
吉岡 光洋



「さくらに浮かれて」
丸山 賢一



「神社と雪」
大井 岳人



「空気を感じるアート」
田中 和夫



「残照の時を迎え」
塩田 敏夫



「古書店街のレトロな裏道」
安原 仁



「Near ManseibashiStation」
新垣 好史



「神田明神に集う」
早野 由香



「打ち水で3°涼しく」
吉田 宏



「さくらクルーズ」
増田 ヒロ子



「夜の内濠通り」
浜中 義孝



「ぼくが主役だ！」
久保田 英司



「みたままつり」
望月 和夫



「かげ」
風岡 邦幸



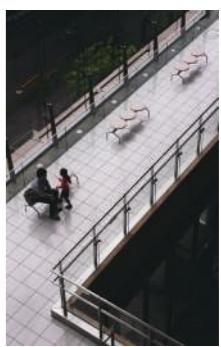
「BON-ODORI」
吉田 富士雄



「神田祭り」
安原 仁



「落ち葉遊び」
上田 有紀子



「絆」
岡崎 リョウタ



「秋を駆ける」
神永 知行



「はしゃ・ぐ」
谷村 享二



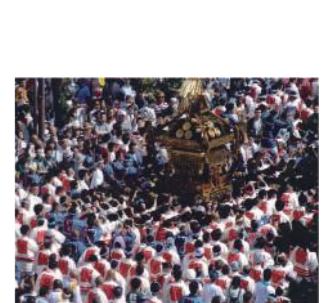
「時代をみつめ続けて
～皇居二重橋正門石橋」
川窪 葉子



「船渡御」
小池 匡満



「プライベート桜」
浅井 康雄



「錦鯉模様半天」
麻野 修一



「Marunouchi」
新垣 好史



「公園の常連」
安藤 佑介



「みたままつり」
飯田 芳正



「おさんぽ」
依知川 佳幸



「晩秋」
伊藤 次男



「カップルポート」
今井 聰美



「奉納神輿」
飯田 芳正



「晩秋と初冬の間」
井口 佳子



「受け継がれてゆくもの」
石渡 千尋



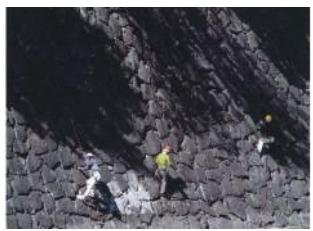
「千代田区民」
岩井 章弘



「春雨の桜田門前」
岩上 行得



「水辺に遊ぶ」
岩上 行得



「点検清掃」
板尾 健一



「桜に集う。」
板垣 育未



「The Tokyo」
依知川 祐美子



「東京日和」
WU QIONG



「見上げる」
上野 真穂



「小さな世界」
上野 真穂



「激写」
太田 洋之



「素敵なミチテラス」
岡田 充



「東京の玄関」
岡田 史郎



「Awa Odori at Mitama Festival」
川原 耕平



「Red Mystery」
Kan Phongjaroenwit



「Dream River」
Kan Phongjaroenwit



「桜漣」
奥田 夏樹



「みたままつり」
小野田 淳二



「八重桜の下で」
片岡 佳子



「菖蒲咲く庭園」
神田 昭



「絵どうろうの商店街」
窪田 晃



「灯り」
小池 匠満



「輝く」
加藤 加奈子



「今桜の下にいるの♪」
加藤 加奈子



「雨上がり」
神永 知行



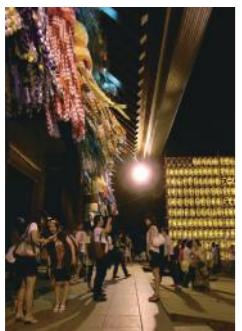
「皇居の桜」
小池 基夫



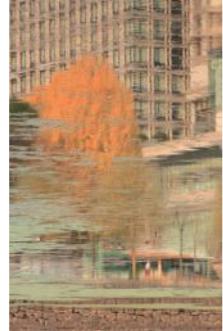
「晴れ日」
小杉 健次郎



「ライトアップされている
逆さ二重橋」
小林 謙三



「ミタママツリ」
齋 聰



「現れし水中都市」
Takayuki Saito



「ライトアップの水辺」
Takayuki Saito



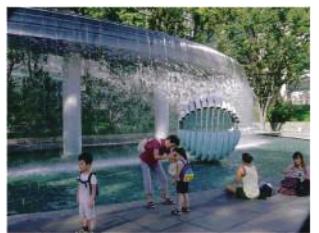
「奉納筒花火」
清水 進



「山王祭の日」
清水 進



「桜海漾舟」
朱 啓華



「水のオブジェに想う」
齋藤 茂



「新年めでたい梯子乗り」
齋藤 力



「Yozakura Tokyo」
佐藤 健



「待機中」
白石 桃子



「みたままつり 宮入」
杉浦 則之



「楽しい神幸祭」
杉山 信吾



「日本の春」
佐藤 常利



「都会の静寂」
塩谷 憲司



「古都の学び舎」
芝崎 直輝



「皇居乾通り一般公開」
鈴木 健之



「良き年になります様に」
鈴木 秀男



「あした」
住谷 翼



「祈願の灯ーアカリテラス」
関根 章夫



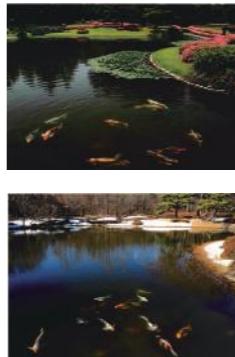
「紅葉に囲まれて」
関根 章夫



「日枝神社神幸祭」
関 正和



「宵宮」
竹内 孝江



「二の丸庭園の春冬」
田所俊一



「明日に向って」
田中 和夫



「桜を背に」
関矢 俊夫



「熱氣あふれるお宮入り！」
高尾 一信



「テケテンテンとお囃子が」
高崎 利夫



「妖精が舞い降りた」
田中 和夫



「まつりの主役たち」
田中 敏夫



「千鳥ヶ淵 幽玄」
谷口 泰之



「都会のオアシス」
高崎 正行



「羽影」
高梨 千津



「これぞ、春真っ盛り」
高野 天音



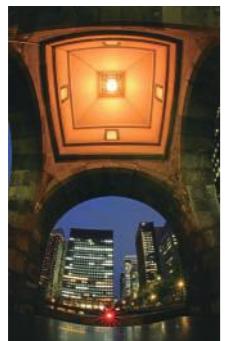
「春は鯉」
谷村 享二



「ベリー・ホリディ」
谷村 享二



「早朝の東京駅丸の内北口」
田村 明弘



「和田倉門の灯り」
多和 裕二



「400年の時を越えて」
土屋 哲



「高架下に響く」
土屋 哲



「Happy」
富岡 雅代



「反射して続く風景」
中島 稔



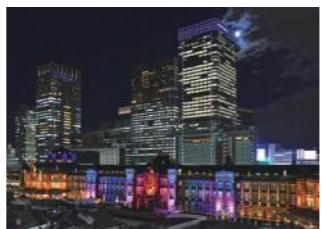
「光に輝く東京駅」
西山 徳明



「窓越しの駅舎」
津布久 郁夫



「明神オーシャン」
津布久 郁夫



「東京ミチテラス2015その2」
鶴谷 巍



「秋深し時」
根本 春代



「黄金の風景」
野添 操



「東京駅光彩」
能登 正俊



「春を満喫」
鶴谷 巍



「櫻和」
寺山 さち子



「黄葉と鳥居」
富岡 雅代



「燃ゆる秋」
能登 正俊



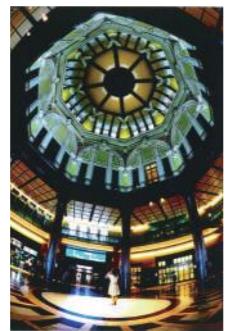
「光る境内」
能登 正俊



「ご一緒させてね！」
白田 誠



「家族でジャンプ」
橋本 忠男



「スポットライト」
橋本 昌利



「みたま祭りの日」
羽田 修



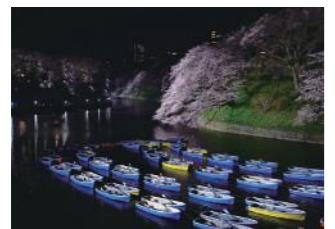
「涼しくなあ～れ」
平野 昌子



「伝え来たる江戸の華」
平柳 富男



「雀の学校」
保坂 重雄



「さくらぼーと」
花山 秀貴



「華麗な巡幸」
幅 周一



「ワテラスにあそぶ」
早川 英夫



「寒中禊式」
細田 邦昭



「千代田のさくらクルーズ」
増田 和也



「お堀端界隈夜景」
間瀬 幾雄



「夜桜の中を漕ぐ」
東出 洋子



「東京国際フォーラム
ガラス棟」
樋口 邦夫



「元気な跳人」
日高 猛



「大都会のオアシス」
間瀬 幾雄



「水面から眺める桜」
松山 幾一



「大旗なびく」
松山 進



「休日の午後」
水上 裕康



「みたまと語らう」
道信 猛夫



「ある春の朝の水鏡」
三石 雄大



「幻色東京駅」
山本 正和



「御茶ノ水夕暮」
横須賀 洋



「観桜の月」
横田 真吾



「東京のど真ん中で踊り、
楽しみ、涼む夏」
三石 雄大



「都会の夜桜」
望月 和夫



「夏の休日」
望月 円



「消防訓練」
吉野 宏映



「月夜のKITTE」
吉村 美令奈



「縁を求めて賑わう」
米倉 辰雄



「夜の東京駅」
安原 仁



「大きいシャボン玉？」
山崎 茂登子



「変わり続ける。」
山本 明子

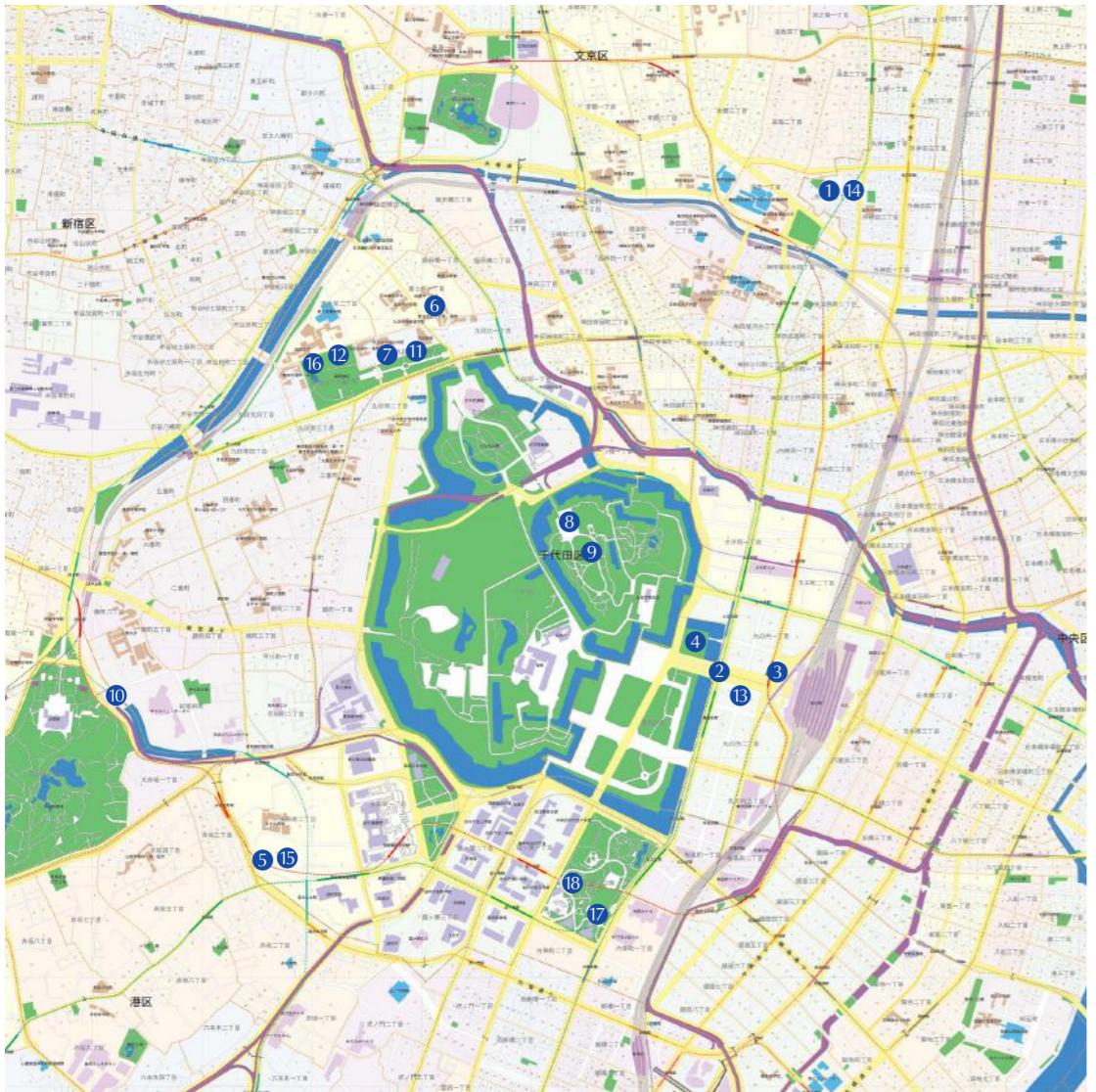


「お堀に映る秋空と彼岸花」
渡辺 美鈴



「秋葉原と2次元の融合
～あきかふえぱろじぇくと～」
榎本 至倫

作品撮影場所



- ①「お獅子とふれあい」……………神田明神
 ②「休日の皇居ランナー」……………皇居前広場
 ③「都会の摩天楼」……………東京駅
 ④「オアシス」……………和田倉噴水公園
 ⑤「鳥居回廊」……………日枝神社 山王稻荷参道(日枝)
 ⑥「日の本の春」……………富士見町ビル屋上
 ⑦「継承」……………靖國神社
 ⑧「でっかいでしょ」……………皇居東御苑
 ⑨「桜咲く頃」……………皇居東御苑
 ⑩「...んっ！？」……………真田堀
 ⑪「みたま祭り」……………靖國神社
 ⑫「神事を終えて」……………靖國神社
 ⑬「華」……………丸の内・丸ビル
 ⑭「女神輿」……………神田明神
 ⑮「男坂と神輿」……………平河町
 ⑯「水ぬるむ頃」……………靖國神社神池庭園
 ⑰「ツリークライミング」……………日比谷公園
 ⑱「日比谷の秋」……………日比谷公園

協賛

キヤノンマーケティングジャパン株式会社	お客様支援センター 西武信用金庫	千代田区日中友好協会
株式会社ダイヤモンドホテル	靖國神社	江戸絶鎮守 神田明神
TOKYO GARDEN TERRACE 紀尾井町	企画・制作 Fhilart フィレール	ホテルグランドパレス 東京・九段
独立行政法人日本芸術文化振興会 国立劇場	THE TOKYO STATION HOTEL	お茶の水ホテルジュラク
アルカディア市ヶ谷 私学会館	otogino	THE CAPITOL HOTEL TOKYU
三省堂書店 BOOKS SANSEIDO	東京會舘	はとバス
mAAch ecute KANDA MANSEIBASHI	HIJIRIBASHI-tei 神田仏蘭西料理 聖橋亭	80. Love TOKYO FM
学校法人 大原学園	学士会館	三和舞台株式会社
東京商工会議所 千代田支部	本の街・神保町を元氣にする会	三菱重工冷熱株式会社

後援 千代田区／一般財団法人 日本カメラ財団／千代田区商店街連合会／東京商工会議所 千代田支部

一般社団法人 千代田区観光協会

千代田の魅力発見！第一回 東京大回廊写真コンテスト入選作品写真集

発行日 平成28年10月12日 住所 〒102-0074
 発行 一般社団法人 千代田区観光協会 東京都千代田区九段南1-6-17
 デザイン 株式会社インフィオラータ・アソシエイツ TEL 03-3556-0391 FAX 03-3556-0392
 制作・印刷協力 株式会社三立工芸 株式会社陽光社 E-MAIL info@kanko-chiyoda.jp